



あ は ん ど と う は ん ず  
A hand to hands

ひとりから おお 多くの なかま 仲間へ

じりつせいかつせんたー は ん ず せたがや 20 周年  
自立生活センター HANDS 世田谷 20 周年

とくていひえいりかつどうほうじん けあず せたがや 10 周年  
特定非営利活動法人 ケアズ世田谷 10 周年

2010 年度 記念誌

もく じ  
目 次

20 周年記念誌発行にあたって	横山 晃久	1
第1章 文集		4
HANDS 世田谷アルバム		5
関係者各位より『HANDS 世田谷20周年に寄せて』		6
HANDS 世田谷アルバム		31
事務局スタッフより『HANDS 世田谷と私』		32
第2章 作品集 HANDS 世田谷展覧会		46
HANDS 世田谷アルバム		47
山口成子		48
森江葉子		49
藤村和子		50
岩上俊彦		51
第3章 年表 HANDS 世田谷20年の歩み		52
HANDS 世田谷アルバム		53
世田谷の当事者運動の歴史		54
HANDS 世田谷 年表		56
おわりに		67



## 20周年記念誌発行にあたって

思い起こせば、昭和が終わって平成になり新しい時代に移ろうとしている時に  
HANDS世田谷を作りました。

最初は、今は亡き山口成子さんと一年前から準備会を作り、色々なところに見学に行き、  
廃品回収をやりながらお金を貯め、事務所は山口さんのアトリエを安く借りて専従の女性  
を雇い、電話を引き、FAXを買い、机を安く仕入れてだんだん事務所らしくなっていました。

組織の代表には、これまた今は亡き二日市安さんに頼んで運営委員長になってもらいま  
した。当時の運営委員は、学識経験者、芸能界で活躍していた人、HANDSに先駆けて自  
立生活センターを作った先輩方に頼みました。助成金を集めるため世田谷区の窓口は山口  
さん、二日市さんと私の三人で話しに行きましたが、実績が無い団体には助成金は出せな  
いと言われ、三人しょげて帰ってきました。そして三人で話し合い、実績を作り半年後に  
また来ようと誓いました。

それから実績を作るために、ほとんど便利屋さんのような介助派遣業務になり障害者の  
自立生活とは遠い、ベビーシッターの代わりに会員が増えました。介助の内容も母親が外出  
をする2,3時間の見守りを頼んでくる母親が増えていました。その時の会員の年齢は0歳児、  
1歳児、2歳児が半分に近い状態でした。乳幼児に対して自立生活とかピアカウンセリング  
などは程遠いと思い、それ以来年齢制限を作り、14歳以上からとしました。

半年が過ぎ、月200時間以上派遣が増え、実績は増えました。

東京都の助成金も運よく半年後にももらえるようになり、活動も軌道に乗り会員も増えてきました。

HANDSの特徴といえば世田谷区は障害者が多いということと、通所の作業所や施設が多いことです。まずこちらから出向いて行って出張相談や出張ピアカンなど施設の訪問や家庭訪問に力を入れていきました。

HANDS世田谷が10年目のときに介護保険制度ができ、ケアズ世田谷を立ち上げました。これまで、何度も何度も危機はありましたが、スタッフの固い絆や先輩方の助言や協力に助けられ、乗り切ってきました。そして、障害者を取り巻く制度が大きく変わるたびにやり方は変化をしてきました。私たちの目指している「重度の障害者も安心して地域で暮らしていける地域づくり」を目標にこれからも息の長い戦いをしていきますのであたたかくみなさん見守ってってください。

よこやま てるひさ  
横山 晃久

